



# 昭和小だより



新年あけましておめでとうございます。旧年中は、地域の皆様や保護者の皆様の温かい御支援と御協力を賜り、本校の教育活動に取り組むことができました。ありがとうございました。本年も引き続き、地域・家庭と学校が協力・連携して、子どもたちのために精進してまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

## 日本の伝統的文化として

昨年の12月に、5年生が田植えから稲刈りをしたもち米を使って、JAの方々やJA女性部の方々、コミュニティの方々に協力をして頂き、餅つきをしました。5年生は、自分たちが田植えをして、稲刈りをしたもち米が石臼と杵で餅つきをすると、もち米がお餅にかわっていくのを見て歓声があがっていました。

餅つきは、古くからの信仰や願いが込められた大切な伝統行事です。昔の人たちは、お正月には「年神様（としがみさま）」という新年の神様がやってくると信じられていました。神様が宿る場所として、丸い餅（鏡餅）をお供えていました。

また、お礼とお願いとして、前の年の収穫に感謝し、新しい年の「五穀豊穰」や「無病息災」を願うために鏡餅をお供えていました。そして、古来、稲（お米）には「稲霊（いなだま）」という霊力が宿ると考えられてきました。お米をついて固めた餅は、さらに強い生命力が宿る「縁起物」とされています。昔は神様にお供えした餅を分け与えることが「御年魂（おとしだま）」と呼ばれ、現在のお年玉にもなっているとも言われています。

餅つきは一人ではできない作業です。親戚や地域の人々が集まり、掛け声をかけ合いながら一緒に作業することで、コミュニティの結びつきや家族の絆と団結を深める役割もありました。今度、お餅を食べるときは、様々な「お餅パワー」を感じながら食べてみてください。



## 今年1年のスタートと学年のまとめとして

3学期は、新たな年がスタートする一方で、年度のまとめの時期にもなります。今年目標を立てながら、今年を振り返ることが大事になります。3学期の始業式では、3つの話をさせていただきました。1つ目が「自分を大切にすること」です。新しい年の始まりは、気持ちを新たにスタートができます。「今年はどうしてみよう」「今年はどうなりた」と、目標を立てましょう。うまくいかなくても、失敗をしても大丈夫！！自分を責めるのではなく、自分を応援できる人になりましょう。2つ目は「友だちを大切にすること」です。学校は、みんなでつくっていく場所です。「困っている人がいたら声をかける」「だれかに嫌なことを言われて悲しんでいる人がいたら、そっと寄り添う」そんな優しさが広がる学校は、とても強い学校だと思っています。「自分がされていやなことは、絶対にしない」この当たり前を、みんなで守り続けていきましょう。3つ目は「最後までやり抜く」ことです。3学期は短いですが、1年間の成長が一番みえる学期でもあります。「もう少しがんばってみよう」「あと一歩だけ前に進んでみよう」その気持ちが、みなさんを大きく成長させます。決してあきらめることなく、最後までやり抜く力をつけていきましょう。

